

3. 発達に応じたかかわり（1） 3歳児

（自分なりにうたったり動いたりすることを楽しむ_____頃）

- 簡単な童謡などをはじめから終わりまで歌えるようになるが、音程は不正確が目立つ。
- 友だちと一緒にうたったり簡単なリズム楽器を使ったりすることを楽しむようになるが、旋律やリズムをそろえることは難しい。
- 歌の拍や休符に合わせてリズム楽器を鳴らすことができる。
- どなるように歌う子どもがいる。

○保育者のかかわり

- 動物や食べ物、経験したことなど身近な題材の曲を_____で歌う。
- 鈴やタンバリンなどのリズム楽器に親しませる。
- 簡単な_____を楽しませる。
- 保育者や友だちの_____を意識させる。
- どなり声で歌わせないようにする
→そのために見直すこと

○3歳児が歌える虫や動物を題材にした曲

○拍うちや合いの手打ちをしやすい曲

○簡単なルールのある集団遊び

○保育所保育指針第2章3. 3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容（抜粋）

領域「人間関係」内容⑪ 友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ろうとする。

領域「環境」内容⑥ 日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。

内容の取扱い④～国歌、唱歌、わらべうたや我が国の伝統的な遊び～

領域「言葉」内容の取扱い④～言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現など～

領域「表現」内容⑥ 音楽に親しみ、歌をうたったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。

領域「表現」内容⑧ 自分のイメージを音や動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。